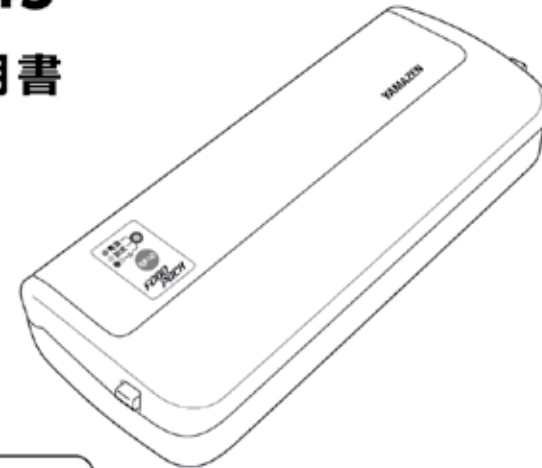




YAMAZEN
フードパック
FDP-145
取扱説明書

ご使用になる前に
この取扱説明書(保証書付)
を最後までお読みのうえ正し
くお使いください。

一般家庭用



もくじ

安全上のご注意	2・3
はじめに	4
各部の名称	5
使用方法	6~9
ご使用のポイント	10
お手入れ方法	11
フィルムの再利用について	12
消耗品・別売品について	12
故障かな?と思ったら	13
製品仕様	14
アフターサービスについて	14

お買上いただきありがとうございます。
なお、この取扱説明書(保証書付)は、大切に
保管してください。
万一ご使用中にわからないことや不都合が生
じたとき、きつとお役に立ちます。

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上のご注意

- ご使用前に、「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱をするときと生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- ▲ 注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左の例は感電注意)
 - 🚫 禁止の行為であることを告げるものです。(左の例は分解禁止)
 - 🔌 行為を強制したり指示する内容を告げるものです。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

- 水などかからないようにしてください**
 - 本機の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 落としたり、破損したときは**
 - 万が一、本機を落としたり、破損した場合は本機の使用をやめ、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
- 分解・改造しないでください**
 - 本機を分解・改造しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- 異常状態で使用しないでください**
 - 万が一、発熱していたり煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の使用をやめ、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 異物が入った時は**
 - 本機に水や金属を入れたり、濡らさぬようご注意ください。火災・感電の原因となります。
 - 万が一、異物や水が本機内部に入った場合は本機の使用をやめ、電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。

安全上のご注意

警告

- 電源コードの取扱について**
 - 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し火災・感電の原因となります。
 - 電源コードが破損した場合は、本機の使用をやめ、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
- 電源プラグの取扱について**
 - 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 - 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

注意

- 設置場所について**
 - ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
 - 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
 - 炎天下の車中に長時間放置しないでください。高熱により本機が加熱・変形・溶解することがあります。
- この機器の取扱について**
 - 電源コードをストーブ等の熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
 - 電源プラグをコンセントから抜くときは電源コードを引っ張らないでください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 本機の上に重い物を置かないでください**
 - 重い物を置くと、置いた物がバランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- ご使用にならないときは**
 - ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

はじめに

フードパックは食品を脱気密封にすることによって、空気中の成分との化学反応を軽減し、鮮度や風味、成分を通常よりよく保存することができます。

- 肉類、魚類などをフリーザーで新鮮に美味しく保ちます。
- ラップ保存などによる冷凍やけを防ぎます。
- 冷凍庫の中で食品の鮮度を長く保ちます。
- おもち、粉末類、乾物などを湿気、虫から守ります。

フードパックの効果

節約に

- ・まとめ買い、または残った食材や食品を冷凍保存することによって食材の劣化を軽減します。
- ・ご家庭のニーズに合わせ、保存用フィルムをお好きなサイズにカットし使用できるのでフィルムの無駄遣いを防ぎます。

食材以外にも

- ・食料品以外にもバックすることにより、汚れ、虫からまもることができます。

時間の短縮に

- ・下ごしらえをした食材をバックしておけば、すばやく調理できます。
 - ・冷凍庫や冷蔵庫からバックしたものを取り出し、そのまま茹でたり、電子レンジでの調理ができます。
- ※電子レンジで使用する場合は袋のカドを切ってお皿などへ乗せてください。密封は完全な真空保存には相当しません。脱気とは空気を抜くことを意味します。食品をバックしても品質は変化します。できるだけ早めにお召上がりください。

持ち運びに便利

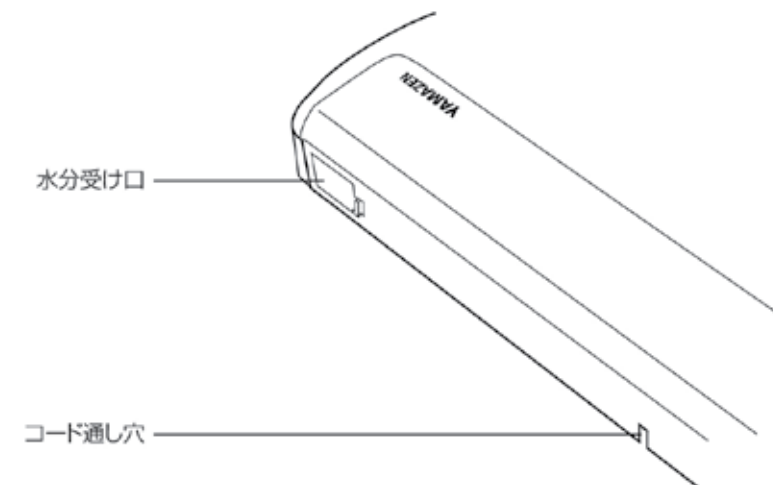
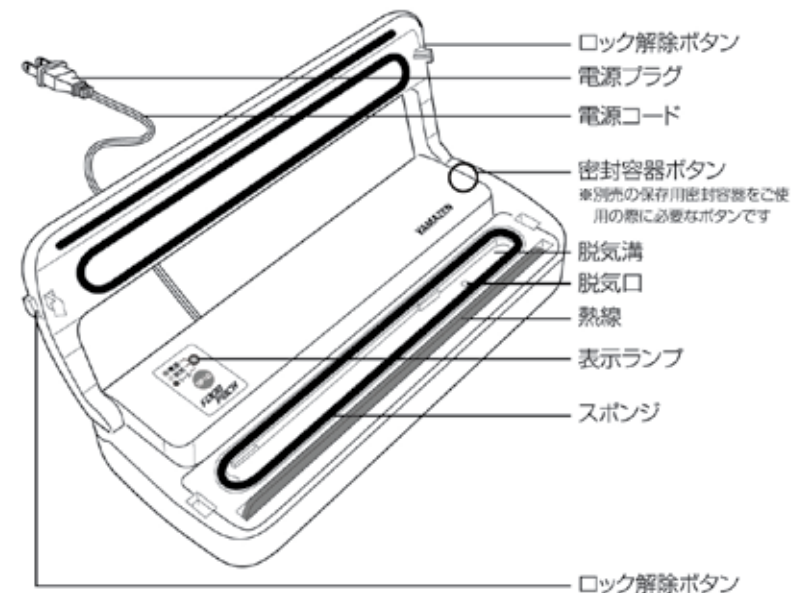
- ・バックすることにより、ピクニックなど持ち運びに便利です。

△ 注意

- ・この製品は空気を抜いて酸化を防ぐものであり、食材が絶対に腐らないとは限りません。
- ・この製品はあくまでも鮮度を伸ばすものであり、殺菌作用はありません。保存には十分注意をしてください。
- ・業務用などで使用されている、真空ポンプにより空気を抜き取る方法とは異なりますので完全に真空パックにはなりません。

4

各部の名称



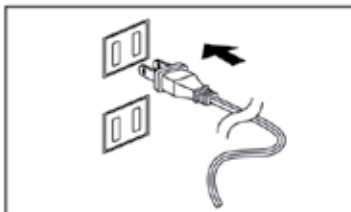
5

使用方法

ご使用の前に

- 必ず専用のフィルムをご使用ください。一般のポリエチレン袋等ではご使用できません。
- ご使用前には、電源コードが傷付いていないか、ロック解除ボタンが正常に動作するかをご確認ください。

1 電源プラグをコンセントに差し込む



- 本体上部の表示ランプが緑色に点灯します。
- ※本体は水平で水気のない場所に設置してください。

2 フィルムを必要な長さに切る



- 保存するものの大きさより上下6センチ以上余裕をとり、必要な長さに切ってください。
- ※再利用のフィルムをご使用の場合は以降をお読みください。

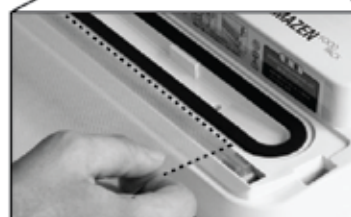
6

使用方法

3 フィルムの底面を閉じる



- フィルムの端を熱線に合わせ、本体カバーを閉じると溶着がはじまります。
- ※本体カバーを閉じたあと、3秒から6秒手でカバーを押さえてください。
- 表示ランプについて
・緑色→待機 ・橙色→脱気 ・赤→溶着



4 フィルムを取り外す



- 本体側面のロック解除ボタンを押し、本体カバーを開けフィルムを取り外してください。
- ※溶着直後はフィルム溶着部や本体熱線が熱くなっているのでご注意ください。
- ※本体を連続して使用する場合は30秒以上間隔を空けてください。

5 保存する物を入れる



- ※保存物を入れる前にフィルムの底面がしっかりと溶着しているかご確認ください。
- ※保存物を大量に入れしないでください。
- ※水気を含んだ物を保存する場合は冷凍してからご使用ください。
- ※傷んでいる食品は保存しないでください。

7

使用方法

6 フィルムを密封する ※フィルムを密封せず端を溶着する場合、P9⑨をご参照下さい。



●フィルムの端を脱気溝に入れ、本体カバーを閉じると密封がはじまり、最後に溶着します。

※本体カバーを閉じたあと、3秒から6秒手でカバーを押さえてください。

表示ランプについて

・緑色→待機 ・橙色→脱気 ・赤→溶着



7 フィルムを取り外す



●本体側面のロック解除ボタンを押し、本体カバーを開けフィルムを取り外してください。

※溶着直後はフィルム溶着部や本体熱線が熱くなっているのでご注意ください。

※本体を連続して使用する場合は30秒以上間隔を空けてください。

使用方法

1 脱気をせずフィルムの端を閉じる



●フィルムの端を熱線に合わせ、本体カバーを閉じると溶着がはじまります。

※本体カバーを閉じたあと、3秒から6秒手でカバーを押さえてください。

表示ランプについて

・緑色→待機 ・橙色→脱気 ・赤→溶着



2 フィルムを取り外す



●本体側面のロック解除ボタンを押し、本体カバーを開けフィルムを取り外してください。

※溶着直後はフィルム溶着部や本体熱線が熱くなっているのでご注意ください。

※本体を連続して使用する場合は30秒以上間隔を空けてください。

⚠ 注意

・誤って電源プラグを差したまま本体カバーを閉めてしまった場合、本機は動作し始めますが、無理にカバーを開けず一連の動作が終了するのを待ちください。

ご使用のポイント

肉・魚の保存について

- ・肉・魚は冷凍してから密封してください。
- ・魚は内臓を取り除いてください。
- ・冷凍せずに密封する場合はペーパータオルなどで包み、水分を吸収させてから密封してください。
- ・調理前のハンバーグや餃子などはラップに包んでから密封してください。

野菜の保存について

- ・ほうれん草やブロッコリー等は新鮮なうちに一度加熱した後、冷まし水分を吸収させてから密封してください。
- ・レモンやパイナップル等はスライスした後、リンゴ等は皮をむいてから密封してください。

液状食品の保存について

- ・カレー、シチュー等の液状食品を密封する場合は、あらかじめ深皿やバットなどに移し冷凍してください。

その他の食品の保存について

- ・カニ、エビ等の角がとがった食品はペーパータオルに包んでから密封してください。
- ・小麦粉やコーヒー等の粉末状の食品の場合は、もとのパッケージごと密封してください。

食品以外のものを密封

- ・銀食器・シルバークセサリー等はペーパータオルで包んでから密封することにより、表面の変色(黒ずみ)を防ぐことができます。
- ・マッチや電池、緊急用具等湿気から守っておきたい常備品等を密封しておくことも可能です。

パックした食品の解凍・調理について

- ・冷蔵庫や常温、レンジ、湯煎等で解凍・調理することができます。特に傷みやすい食品は常温で自然解凍しないでください。レンジを使用する場合は必ず角を切り、空気の入出りを自由にした後、深皿等に入れた状態で行ってください。

- 電子レンジで使用する場合は袋のカドを切ってお皿などへ乗せてください。
- 密封は完全な真空保存には相当しません。脱気とは空気を抜くことを意味します。
- 食品をパックしても品質は変化します。できるだけ早めにお召上がりください。

お手入れ方法

お手入れの際は必ず電源プラグを抜き、本体が冷めた状態で行ってください。

- 樹脂部の汚れは、水または薄めた台所用洗剤(中性)を含ませたスポンジや布で軽くふき取ってください。
- 金属部の汚れは、ブラシまたは乾いた布でふき取ってください。
- 十分に水気を切っても、野菜等から出る水分やその他微量の水気が脱気溝や脱気口に、溜まっている事がありますので、スポンジを外し(下記参照)柔らかな布等でふき取ってください。また、水分受け口(本体背面)に水分が溜まってしまうのでカップを取り外し(下記参照)水分を捨ててください。

スポンジの取り外し方



- 本体カバーを開け、スポンジを取り外し柔らかな布等で水分をふき取ってください。

水分受け口の取り外し方



- 本体背面のカバーを開け、水分受け口を引き出し水分を捨ててください。

フィルムの再利用について

- 水または、ぬるま湯と中性洗剤などで袋の内側と外側を良く洗い、きれいに洗い流してください。
- 水気をとり完全に乾いてから再利用してください。

※肉類や魚介類、生もの、油っこいものに使用したフィルムは衛生上再利用しないでください。

消耗品・別売品について

- お買い上げの販売店または、弊社商品取扱店にて下記指定品番の物をご購入ください。

保存用フィルム〈ロールタイプ〉
幅207mm×6.0m 1本 品番:Y-FDP20

保存用フィルム〈ロールタイプ〉
幅284mm×6.0m 1本 品番:Y-FDP28

専用密封容器
大:1.65ℓ 小:900ml 2個入り 品番:Y-FDP993

故障かな?と思ったら

症 状	点 検 事 項
ボタンを押しても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがきちんとコンセントに差し込まれていますか? ●電源コードに損傷はないですか? ●続けて作業をしていませんか?
表示ランプが緑→橙→赤と点滅を繰り返して作動しない	<ul style="list-style-type: none"> ●続けて作業をしていませんか?
フィルムから 空気が抜けにくい	<ul style="list-style-type: none"> ●フィルムの端が脱気溝にきちんと入っていますか? ●フィルムに穴が空いていませんか? ●フィルムの片側はしっかり溶着されていますか? ●溶着部がシワになっていませんか? ●フィルムを本機以外で溶着していませんか?
空気が抜けるが、 再びフィルム中に 空気が入ってくる	<ul style="list-style-type: none"> ●溶着部がシワになっていませんか? ●食品の水気や食品片が溶着部に付着していませんか? ●とがったものが原因で袋に穴が空いていませんか? ●食品が発酵しているか、自然のガスを発生させていませんか?
フィルムが溶ける	<ul style="list-style-type: none"> ●続けて作業していませんか?
フィルムが溶着されない	<ul style="list-style-type: none"> ●溶着部分がシワになっていませんか? ●食器の水気や食品片が溶着部に付着していませんか?

製品仕様

メモ

品名	フードバック	溶着可能幅	最大284mm
品番	FDP-145	脱気力	約450mmHG
電源	AC100V、50Hz/60Hz	使用可能な袋	フードバック専用保存用フィルム
消費電力	115W	溶着温度	120℃
外形寸法	幅380×高さ152×奥行き68mm	溶着時間	約15秒
重量	2.8kg	材質	ABS
コード長さ	約1.4m		
付属品	フードバック専用保存用フィルム(幅284mm×長さ600cm)×1本		

アフターサービスについて

- ①この製品は保証書がついております。
お買い上げの際に、販売店より必ず保証書の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買い上げ日より1年です。
保証書の記載内容によりお買い上げの販売店が修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③保証期間経過後の修理についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
(株)山善は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
- ④フードバックの補修用性能部品の保有期間は製品打ち切り後5年です。
補修用性能部品とはその製品の性能を維持するために必要な部品です。
- ⑤アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載の「山善 各営業部」へお問い合わせください。

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。